

主な記事

行政改革アクションプラン 2
 指定管理者を指定 4
 自治会長の紹介 6
 まちの話題 8
 市民の広場 18

HIOKI-City <http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>

ほほえみ

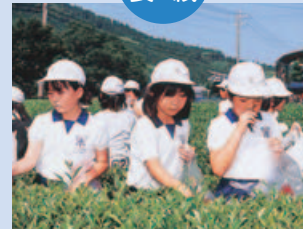
HIOKI JOURNAL JULY.2006



鹿児島県日置市

市の人口(住民基本台帳)
 総人口 52,977人(26)
 男 24,778人(12)
 女 28,199人(14)
 世帯数 22,309 (11)
 7月1日現在()は前月比
 市の面積 253.05km²

今月の紙



飯牟礼小児童とALTのマリアさんらが、茶摘みから乾燥までの一連のお茶づくりを体験。慣れない手つきながら真剣な表情で取り組む姿は職人さんみたいでした。(6/20 伊集院地域)



14 平成18年7月号

発行/日置市役所
 総務企画部企画課
 〒899 2592
 日置市伊集院町郡一丁目100番地
 TEL 099(273)2111
 FAX 099(273)3063
<http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>



古紙配合率100%再生紙を使用しています

わが地域



会長 馬場 耕一さん

荻自治会は、東市来地域の北東部、東市来支所から東に約七キロメートルに位置し、百四十八世帯、三百七十一人が暮らしています。地域内には、上市来小・中学校を有し、地域を東西に流れる大里川には、市指定有形文化財の二連式アーチ型の石橋「荻前田橋」が残る自然環境に恵まれた穏やかな地域です。



▲貴重な二連式アーチ型石橋「荻前田橋」(昭和6年竣工、長さ21.6m、幅5.4m)

人口減少の歯止めと地域活性化を図るため、旧東市来町では、若者定住促進策として町土地開発公社と連携し、ミニ団地建設に取組みました。平成七年に上市来ハイツ(十三区画)、平成十二年にはエステート宮内(六区画)が分譲され、地域内外からの定住につながりました。現在、荻子ども会の小中学生は四十一人で、上市来校区内では

荻自治会(東市来地域) 歴史文化の継承と地域の和を大切に

一番子どもが多い自治会となっています。子ども会は、元旦の拜賀式や棒踊り、運動会、グラウンドゴルフ大会などの自治会行事と合わせ、地域内交流が活発になるよう活動しています。年間を通して地域活動の中心的な役割を担っているのが「青壮年部」です。特に、毎年五月に開催される伊勢神社奉納棒踊り(庭狂言「後山」の復活)や東市来地域運動会での自治会対抗二年連続優勝など、子どもから高齢者までの協働力を発揮した地域運動会



制を築く青壮年部のヤル気パワーに感激しています。また、高齢者クラブ「長寿会」による環境美化活動や「婦人会」による敬老訪問など地域自治会活動に積極的に参加協力をいただいています。地域全体が、子どもから高齢者までのふれあいの場となり、安心して暮らせる、和気あいあいと声を掛け合える地域づくりを目指し、これからも自治会の皆さんが、「和」を大切にし、健康で明るく生活できる地域を創ってまいります。



▲青壮年部による庭狂言(後山)



先月、梅雨の晴れ間にわが家の貴重な一枚田の田植えをしました。田植えといっても、手植えでなく乗用田植機で、です。機械化で本当に楽で便利になり、捕植も田の四隅だけで終わりでした。しかし、これから十月まで用水や除草などの大切な管理作業が待っています。この管理が一番大変です。管理(父です)。さん後はよろしく。▼広報では、先月号から市行政改革の記事を掲載していますが、本市の財政状況は全国の自治体と同様に厳しい現状です。足腰の強い体力のある財政基盤をつくるため、今後、総合計画を基本に財政健全化への取組みが実施されます。▼その一つとして、九月から二十二の市施設で管理運営が指定管理者へと移ります。これまで以上に市民サービスの向上と財政負担の軽減が図られることとなります。運営面など管理チェック体制は万全にしたものです。

「日置市行政改革集中改革プラン」を作成



本市を取り巻く社会情勢は、非常に厳しい状況に陥ることが予想されます。一方、市民ニーズは、効率性だけでなく、さらにサービスの速さと質に重点が移ってきています。このような状況の中で、合併による新しいまちづくりを進めるためには、財政の健全化と効率的で効果的な質の高い行政サービスを提供していかなければなりません。

そこで、市では「日置市行政改革大綱」を策定（概要は前号で紹介）し、行財政改革を計画的かつ効果的に実施するため、各部署が取り組む具体的な行動計画として集中改革プラン（アクションプラン）を作成しましたので、その概要を公表いたします。

5年間に50億円の効果を目標

市では、平成十八年度から平成二十二年度までの五年間に、五十五のプランに掲げた集中改革を実施し、平成十七年度の当初予算額と比較して、その効果目標額は概ね五十億円となる見込みです。

市行政改革大綱の項目ごとの改革プランの概要は、次のとおりです。

〔プラン件数／五年間の効果目標額〕

1 行政ニーズへの迅速かつ的確な対応を可能とする組織

〔9件／—〕
組織・機構の改善

現体制では事務の重複や効率性の面で問題もあることから、より効率的で迅速な行政

を進めるために、本庁と支所の役割を見極めながら、部課等の統廃合をはじめ支所業務の整理統合を進めます。

補助金等の見直し
〔5件／14億780万円〕

新たに本市で取組んでいくべき事務は、今後、国・県からの権限委譲などで拡大していくことが予想されることから、市民の理解と協力を得ながら、これまでの事務の統合や廃止を含めて合理的に行います。特に、補助金等（補助金、負担金および交付金）については、これまでの実績、効果、市民の要求度等を考慮し大胆な見直しを行います。

2 定員管理および給与適正化等

〔3件／6億1,745万円〕
定員管理の適正化

平成二十二年度までの毎年の定年退職者数と新規採用者数を定員適正化計画の中で明らかにしながら定員管理を行うとともに、組織機構の見直しや市民・企業等の参画制度の導入等並びに職員の資質向上により、五年間で合併時に比べ職員数十五%（約八十人）程度の削減を行います。

給与等の適正化
〔3件／527万円〕

給与については、財政事情、地方公務員をめぐる厳しい環境を踏まえ、職務と能力に合った適切な処遇を図るとともに、引き続き、国県および他市町村との均衡並びに民間の動向を踏まえつつ、諸手当とともに適時見直しを図ります。

福利厚生事業の見直し
〔1件／—〕

3 自主性・自立性の高い財政運営の確保

〔11件／3億7,321万円〕
財政の健全化

職員数の削減による人的・効率的な実施を図るため、事業範囲の明確化を図り、市が使用者としての責任を十分に果たしていける施策に見直ししていきます。

を重視した歳入確保と歳出抑制を盛り込んだ中・長期的な財政プログラムを作成します。歳入確保については、市税の確保並びに使用料および手数料の受益者負担の適正化について検討を行います。歳出抑制については、補助金等の見直し並びに定員管理および給与等の適正化や、職員のコスト意識の堅持など、徹底した経費の節減に取り組めます。

公共工事
〔2件／25億9,700万円〕

公共工事については、効率的で透明性の高い入札制度の導入を図るとともに、戦略的な事業の選択による投資的経費等の削減に向けた取組みを進めます。

公共施設
〔2件／—〕

公共施設については、特に重複する施設の統廃合および新たな投資を避けるため、地域資源である施設の他用途への活用方法について検討していきます。

未利用土地
〔2件／—〕

市有の未利用土地については、処分を含めて活用を図ります。

4 地方公共団体における行政の担うべき役割の重点化

〔1件／—〕
外部委託等の推進

全ての事務事業について、外部委託の可能性を検討し、着手可能なものから民営化に転換していきます。また、行政経営の新たな手法としてのPFI（※1）事業方式や地方独立行政法人（※2）制度については、その導入について検討していきます。

指定管理者制度の活用
〔2件／2,526万円〕

公共施設の管理については、地方自治法の改正に伴い「指定管理者制度」への移行が必要なことから、直営管理と比較しながら施設の設置目的や性質、存在の必要性などを検討し、同制度が必要な施設は本年9月から導入し、施設の効率的管理を行うこととしていきます。

公営企業等の経営健全化
〔1件／—〕

国民宿舎等の公営企業を取り巻く環境は、地方公共団体の場合と同様に、本来の目的である公共の福祉の向上のために、そのあるべき経営方法について、事業の外部委託も

3 セクターの抜本的見直し

〔1件／—〕

市には、農業担い手不足に伴う農作業受託や後継者育成のために農業公社が存在しています。地域の拡大に伴い、受託体制等事業内容について関係者で協議するとともに、適切な監査体制の維持や経営状況公開など、更なる経営改革に取り組めます。

地方公社の経営健全化
〔1件／—〕

市には、鹿児島県土地開発公社日置支社が存在しています。公営企業と同様に、その目的と照らしながら、法的整理も含め、その必要性を検討し、経営健全化に積極的に取り組みます。

地域協働の推進
〔3件／—〕

指定管理者制度の他に、新たな公共空間を担う存在として、自治会、NPO（※3）をはじめとする市民団体があります。市民自治の理念のもと、協働による行政経営の実現を進めるためには、この市民団体を行政経営のパートナーとして捉える必要があります。地域における様々な課題（例えば、地域振興、環境問題、福

5 人材育成の推進

〔3件／—〕

市民の行政サービスに対する満足度向上のためだけでなく、国県からの権限委譲にも対応しうる資質を備えなければならぬことから、今後、職員の積極的な研修参加や業務に関する資格取得のための職場環境を充実するなど、人材育成の推進に努めていきます。

6 電子自治体の推進

〔2件／—〕

電子自治体（※4）構築に向けては、複雑化・多様化する社会情勢や市民の意思等を考慮し、方針・戦略を定め、情報化推進体制や推進計画を策定し、効率のおよび効果的に推進していきます。

7 議会

〔1件／—〕

地方分権の進展に伴う議会の持つ住民代表機能および執

行機関に対する監視機能のより一層の発揮に努めるとともに、議員定数や報酬に対する不審の検証と市民への説明責任を果たしていきます。

改革に理解と協力をお願いします

今後、職員数の削減による人件費の縮減や使用料・手数料、補助金等の見直しに取り組み、効率的で健全な財政運営に努め、本年三月に策定しました「第一次日置市総合計画」に盛り込まれた諸施策の実現に努めてまいりますので、市民のみならずのご理解とご協力をお願いします。

お問い合わせ
総務企画部合併プロジェクト室
（内線1266）
参照 日置市ホームページ
<http://www.city.hioki.kagoshima.jp/keikakutop.htm>



用語解説

- 「PFI」 Private Finance Initiative（略。民間資金主導型の手法であり、従来公共部門が提供していた公共サービスを民間主導で実施することにより、設計（design）、建設（build）、維持管理・運営（operate）に民間の資金とノウハウを活用し、効率性かつ効果的な公共サービスの提供を図るといった考え方があります。
- 「地方独立行政法人」 地方公共団体が直接行っている事務事業のうち一定のもの（試験研究、大学の設置・管理、公営企業に相当する事業の経営、社会福祉事業の経営等）について、地方公共団体とは別の法人格を有する法人を設立して、より独立性を強めた形で自律的、弾力的な運営を行わせようというものであり、業務の効率性や質の向上を図ることをねらいとしています。
- 「NPO」 Nonprofit Organization（略。民間非営利組織のことで、営利を目的としない公益的な市民活動等を行う組織、団体。
- 「電子自治体」 自治体がインターネット等の「情報通信技術」を活用し、住民の利便性・満足度の向上、行政運営の効率化などを実現するための取組みを言います。



老人保健の



「限度額適用・標準負担額減額認定証」

について

「限度額適用・標準負担額減額認定証」とは(以下、「減額認定証」という。)

住民税非課税世帯の老人医療受給者が入院したときに、医療機関の窓口で支払う一部負担金と入院時の食事代を減額するための認定証です。

※ 限額認定証の必要な方は、8月1日から申請できます。

減額認定証の交付を希望する人は、受給者本人の老人医療受給者証と健康保険証、印鑑を持って、最寄りの本庁・各支所へ申請してください(低所得の方で、平成17年8月以降に91日以上入院をしているときは、領収証もお持ちください)。

老人医療の対象になる人は、昭和7年9月30日以前に生まれた人と、65歳以上で一定以上の障害のある人です。(白色の老人医療受給者証をお持ちの方)

費用負担額

入院の場合、世帯ごとに1ヶ月の自己負担の限度額が設定されています。

通常の場合

区分	入院自己負担限度額(月額)	食事代(1食あたり)
一般	40,200円	260円

減額認定証を提示した場合

区分	入院自己負担限度額(月額)	過去12ヶ月の入院日数	90日までの入院	210円
			90日を越える入院	160円
低所得	24,600円			
低所得	15,000円			100円

※減額認定証の対象者

低所得II …世帯主および世帯全員が住民税非課税の人

低所得I …世帯主および世帯全員が住民税非課税で、かつ各種収入等から必要経費・控除(年金の所得は控除額を80万円として計算)を差し引いた所得が0円となる世帯に属する人。

※標準負担額差額支給について

やむをえず、減額認定証の提示ができず、通常費用を支払ったときは、申請に基づき差額を支給します。

【お問い合わせ】

本庁	健康保険課	国保老人保健係	TEL(代)273-2111
東市来支所	保健福祉課	国保老人保健係	TEL(代)274-2111
日吉支所	保健福祉課	国保老人保健係	TEL(代)292-2111
吹上支所	保健福祉課	国保老人保健係	TEL(代)296-2111

22の市施設の管理者を指定

市では、多様化する住民ニーズに効果的・効率的に対応するため、公の施設の管理運営に民間事業者の手法を活用し、サービスの向上と経費の節減を図ることを目的に、指定管理者制度を導入することとし、本年四月、七つの施設について公募を行い、応募があった中から、市文化会館など六つの施設について五つの企業・団体等を適正な管理者として認め、六月の定例議会での議決を受けて各施設の指定管理者として指定しました。また、公募によらない十六の施設については引き続き、現在の管理者を指定管理者として指定しました。



市文化会館

なお、施設の管理運営が指定管理者になっても、施設の利用や申込方法などは今までと同じです。施設使用料については、条例で定めているので、これまでと比べて高くなることはありません。また、指定管理者が施設の管理運営を通じて得た個人情報、市個人情報保護条例により守られます。今後、市ではより一層の住民サービスの向上と経費の削減を図ることとして、これ以外の施設についても計画的に指定管理者制度を導入していきます。

問い合わせ
総務企画部合併プロジェクト室
(内線1266)

9月以降指定管理者により運営開始される施設一覧

施設名	指定管理者名	施設担当課
1 伊集院健康づくり複合施設「ゆすいん」	日章(伊集院)	本庁福祉課
2 公衆浴場	(株)有園(吹上)	吹上支所市民生活課
3 国民保養センター及び老人休養ホーム「江口浜荘」	(株)イシタケ(鹿児島市)	本庁商工観光課
4 森林体験交流センター「美山陶遊館」及び美山林間広場、共同登り窯、元外相東郷茂徳記念館及び広場等付帯施設	鹿児島シティエフエム(株)・(株)アトラス共同企業体(鹿児島市)	東市来支所地域振興課
5 伊集院文化会館	(株)舞研(鹿児島市)	本庁社会教育課
6 東市来文化交流センター		東市来支所社会教育課
7 健康交流館ゆーぶる吹上	吹上支所公共施設振興管理公社	吹上支所地域振興課
8 キャンプ村		
9 東市来総合福祉センター		東市来支所保健福祉課
10 伊集院老人福祉センター		本庁福祉課
11 日吉老人福祉センター		日吉支所保健福祉課
12 吹上老人福祉センター		吹上支所保健福祉課
13 日吉ふれあいセンター		日吉支所保健福祉課
14 日吉いきいきデイサービスセンター	日置市社会福祉協議会	
15 飯牟礼児童館(伊集院)		本庁福祉課
16 土橋地区児童館(伊集院)		
17 伊集院北児童館(伊集院)		
18 妙円寺児童館(伊集院)		
19 和田児童館(吹上)		吹上支所保健福祉課
20 江口蓬莱館	江口漁業協同組合	東市来支所農林水産課
21 伊集院都市農村交流施設チェスト館	伊集院町都市農村交流振興協会	本庁農林水産課
22 山神の郷施設	山神の郷管理組合	吹上支所農林水産課

市施設の指定管理者を指定しました

指定期間は3年7か月。平成18年9月1日〜平成22年3月31日

平成18年9月から指定管理者制度を導入

稲の生長が楽しみ!

田之湯自治会の田植え

六月十八日、田之湯自治会が、昔ながらの手植えでの田植えを同地区の水田で行いました。
この事業は、同自治会の青壮年部、子ども会、福寿会が中心となり、平成十三年から毎年実施しているもので、田植え、かかし作り、稲刈り、餅つきなど、年間を通して作業を行うことで、収穫の喜びを体験するものです。
最初は慣れない手つきだった参加者も、経験者に教えてもらおうと徐々にコツをつかみ、上手に植えていました。
一年生から毎年参加している湯田小六年の宝来政志君は「足が痛くなったけど、自分たちが育てた米で作った餅を食べるのが楽しみです」と稲の生長が待ち遠しい様子で話していました。



高齢者のスポーツ交流に優勝旗を贈呈

伊作田出身の前田国次さん

東京都在住の前田国次さんが、日置地区高齢者スポーツ大会用として、同高齢者クラブ協議会に優勝旗を寄贈。五月二十六日に長里地区公民館で開催された第一回日置地区高齢者クラブ協議会総会・福祉大会の席上で、その披露式が行われました。
東市来地域の伊作田地区出身で関東東市来会の会長を長年努める前田さんは、地元に対する関心が高く、同スポーツ大会に優勝旗が無いことを知り、日置地区の高齢者がスポーツを通して健康増進を図られるよう期待して贈呈されたものです。



自然を生かした都市交流 田舎の良さをPR!

桑木野自治会「竹炭作り体験」

五月十四日、桑木野自治会の竹炭工房で「竹炭作り体験」が行われ、鹿児島市などから二十一家族二十四人が参加し、竹炭作りにチャレンジしました。
参加者は、地元の竹炭作り名人から作り方の説明を受け、竹を炭にしやすい大きさに四つに割ってから、窯入れから火入れまで行いました。また、子どもたちは竹とんぼ作りにも挑戦。竹の厚みや羽の向きなどを試行錯誤しながら、世界で一つの竹とんぼ作りを楽しみました。

この体験企画は、桑木野自治会として初めて取り組んだもので、昼食は全て「桑木野産」にこだわり、湧き水で炊いたお米のおにぎりやワラビ、竹の子の煮しめなどが振る舞われました。
参加者は、「竹炭づくりの貴重な話が聞いて良かった」、「地元の方の素朴な人柄がとても印象的でした。新鮮な空気のもとで竹炭作り体験ができてうれしかった」など。後日、焼成後に届けられる竹炭を楽しみに、感想を話していました。



▲竹炭工房で作り方を説明する竹炭作り名人の鮫島さん(左から1人目)



▲竹とんぼ作りを教える自治会長の桑木野さん



▶竹割りにも挑戦

めだかスイマー、オリンピックを目指せ!

B&Gスイミングクラブ開講式

五月十三日、B&G東市来海洋センターでスイミングクラブの開講式があり、日置市内の小・中学生二百人が参加しました。このクラブは、前期(五月十六日〜九月一日)と後期(十月十七日〜二月九日)に分かれ、小学低学年は主に水慣れ、クロール泳法、高学年・中学生はクロール、背泳ぎ、平泳ぎ、バタフライ

の泳法を子どものレベルに合わせて習得させます。
また、あいさつの仕方や団体行動での規律も学ばせ、心身ともに健全な青少年の育成も図っています。橋口B&G海洋センター所長が「水泳の技術を学ぶことだけでなく、たくさんの友達と仲良く楽しく学んでください」とあいさつ。子どもたちは、久しぶりのプールで水中レクリエーションを楽しみました。



写真右)「水慣れ」を楽しむ小学低学年生

写真下)インストラクターによる泳法指導



和紙ちぎり絵の力作がずらり!

30年の集大成

六月九日から十一日までの3日間、東市来文化交流センターで、全国和紙ちぎり絵さつまつ会同展覧会が開催され、日置市内外からたくさんの方が訪れ、会場に展示された力作に見入っていました。
今回の展覧会は、二年ぶりに鹿児島で開催されたもので、和紙ちぎり絵創立三十周年の集大成となる展示と全国和紙ちぎり絵サークルの講師認定者十二人のすばらしい特別作品も披露されました。



▶講師認定者の特別展覧作品



▶それぞれの作品に見入る和紙ちぎり絵の愛好者ら



クロード・ムリエ画伯 表敬訪問

五月二十七日から二十九日まで、東市米文化交流センターで行われた現代国際巨匠絵画展に作品を展示したフランスの画家クロード・ムリエさんが、五月二十六日、宮路市長を表敬訪問しました。ムリエさんは、絵画展の記念として南仏の風景画を市に寄贈。「鹿児島は緑が多くてほっとする」と、話していました。また、ムリエさんは同日、福祉施設「みどりの里」を訪れ、入所者と共同で水彩画を描いたり、絵画を趣味にしている人の作品にアドバイスをするなど、交流を楽しみました。

日本にキリスト教を伝えたフランシスコ・ザビエルの生誕五百年を記念し、水上バイクでの足跡をたどる航海を続けるスペイン人冒険家アルバロ・デ・マリチャールさんが六月十三日、宮路市長を表敬訪問しました。マリチャールさんはザビエル一族の子孫。「日本への扉を開いたザビエルは私のヒーロー。鹿児島で多くの人と交流できるのが楽しみ」と話していました。同日、マリチャールさんは、ザビエルゆかりの地などを訪問。十四日まで滞在し、ゴール地点である東京を目指しました。

ザビエル子孫 表敬訪問



▲ 五ツ太鼓の披露



▲ 市長のあいさつ



▲ 多くの人でにぎわう会場



▲ たまご(ゴルフホール)のつかみどり

平成十四年六月にオープンし、地元生産者自慢の新鮮野菜や加工品を販売している都市農村交流施設チェスト館が今年で四周年を迎え、六月十七日、四周年記念大感謝祭が行われました。当日はあいにくの曇り空となりましたが、開店前から長い行列ができ、開店と同時に多くの人が詰め掛けました。開店セレモニーでは、宮路市長があいさつ。会場には野外特設ステージも設置され、五ツ太鼓も披露されました。その他にも、ジミー入枝さんのステージショー、卵のつかみどり大会、手打ちそば実演販売、お楽しみ大抽選会などが行われ、会場は終日大勢の人出でにぎわっていました。

日頃のご愛顧に感謝！
チェスト館四周年記念大感謝祭

鹿児島島の観光や特産品を関西に向けて売り込もうと六月四日、大阪府で第三回関西がこしまファンデーが開催され、関西在住の鹿児島出身者ら約一万人が訪れました。日置市からは、伊集院まんじゅう、芋焼酎、お茶など五事業所が出展し、懐かしい味を買い求める人でにぎわいました。当日は、関西伊集院会の会員も出展コーナーで販売員として参加するなど、地元産品を積極的にPRしていました。次回開催は、平成二十年です。



日置市の魅力を発信 関西がこしまファンデー



地場産業を体験 郷土への関心深める

飯牟礼お茶づくり体験

六月二十日、お茶畑に囲まれた飯牟礼小学校（三宅哲朗校長、児童六十九人）でお茶づくり体験があり、全校児童が茶摘みから乾燥までの一連の製茶作業を体験しました。これは地場産業でもある茶産業への関心を深めてもらおうと毎年行われているものです。今年も飯牟礼幼稚園の園児や今年七月で二年間の任期を終えて帰国する伊集院地域のALTマリア・アメリウさんも参加。一緒にお茶づくりを体験しまし

▲ 蒸した茶葉を手もみする児童



▲ 飯牟礼幼稚園の園児も参加しました



▲ 飯牟礼簡易郵便局の榎園正義さん。お茶への理解を深めてもらおうと20年以上講師を務めています。



▲ 大釜で茶葉を煎ります

二十年以上前から講師を務めている飯牟礼簡易郵便局長の榎園正義さんが、ひとつひとつの作業を丁寧に指導。「子どもたちに飯牟礼特産のお茶を少しでも知ってほしい」と、簡易郵便局隣にある榎園さん所有の茶畑も提供しています。児童は講師の指導を受けながら、汗だくになって作業。摘んだ茶葉を蒸し、手もみした後、大釜に入れて煎ると辺りは香ばしい香りが漂いました。すべての作業を終えた児童は、給食時間に、できたてのお茶を味わいました。

茶の葉香る中、生産加工技術競う

日置市荒茶品評会



日置市茶業振興会主催の荒茶品評会が五月二十四日、さつま日置農協茶加工施設で行われ、生産者の部で山崎トシ子さん（東市米・梅木）、加工者の部で新村幸一郎さん（東市米・田代西）が一位になりました。品評会では、生産者の部に二十八人、加工者の部に二十五人が出品。県日置農業改良センターや県経済連茶事業部、JAさつま日置の担当者が、外観や香り、味などを審査しました。

お父さん、牛乳飲んで健康に

「父の日には牛乳を贈ろう！」キャンペーン



「父の日には牛乳を贈ろう！」キャンペーンのため、六月十四日、県酪青壮年部と県酪農業協同組合の関係者が市役所を訪れ、牛乳や乳製品を贈りました。これは、六月十八日の「父の日」に牛乳や乳製品を贈り、日頃の感謝と牛乳を飲んで健康に過ごしてほしいというキャンペーンです。宮路市長は「これからも安心・安全な牛乳の生産を期待しています」とあいさつ。県酪青壮年部女性部員とおいしい牛乳で乾杯しました。

日置小
体験学習

地元特産品『日吉緑竹』の 収穫と初出荷式を体験！



六月二十三日(金)、扇尾地区の上田平重夫さん所有の緑竹園にて、日置小学校六年生二十六人が、日吉地域の特産品で平成十七年度に続いて今年もかこしま農林水産物認証を受けた「日吉緑竹」の収穫と初出荷式を体験しました。

まず始めに、日吉町緑竹会会長の鳩野哲盛さんが、竹の子の王様とも呼ばれる「緑竹」栽培に取組んだ経緯などについて説明、日吉緑竹栽培農家で最も広

い作付面積を持つ上田平重夫さんから、緑竹の選定や掘り方についての説明がありました。説明を受けた児童は、班ごとに分かれ、それぞれ緑竹会員の指導を受けながら収穫体験しました。収穫した緑竹は、上田平さんの作業場で出荷規格に合うように長さや重さに注意しながらきれいに切り口を揃え、一箱に四キロ以上になるようていねいに箱詰めを行いました。

は、江口漁業協同組合日吉支所で行われた今年最初の出荷式に参加。
テープカットが行われた後、東昌徹くんと下原 季奈さんから「かこしま農林水産物認証」のシールが貼られた日吉緑竹の初荷が運搬トラック運転手さんへ手渡され、高級食材として関東・中京方面のホテルや料亭へ向け出荷されました。



▲優勝した日吉排球チーム

**日吉地域
春季バレーボール大会**
日吉地域バレーボール協会主催による第二十八回日吉町春季バレーボール大会が開催されました。
日吉地域内の各自治会の代表チーム(日新A・日新B・中区・南区)やクラブチーム(あすなろ・住吉・小正・日吉排球・おんじよず・ビーナス・エンジェル)の全十一チームが参加し、各チーム優勝を目指し熱戦が繰り広げられました。結果は、次のとおりです。
優勝 日吉排球チーム
準優勝 住吉チーム
第三位 日新Aチーム
ビーナスチーム

親子で知恵を出し合い ふれあい深めたウオークラリィ

日新小「日曜参観」

六月二十五日(日)、日新小学校で、日曜参観が開催され授業参観と親子ふれあい活動が実施されました。
一校時に教科の授業参観、二校時には「心の教育の日」として全学年一斉の道徳の授業参観があり、保護者と地域の方と一緒に心の教育について考える機会となりました。

授業参観の後は、親子ふれあい活動として、ふれあいウオークラリィ大会が行われ、「校訓『日に新しく日に進む』はどこからとっているでしょうか。」「校内には梅の木が何本あるでしょうか。」「我が家の自慢、いいところを一つ書いてください。」「2006サッカーワールドカップの出場国の数は。」など、学校の歴史や施設のこと、家庭や時事問題

などを、親子で知恵を出し協力しながら回答していました。汗いっばいかきながら難問奇問に取り組み、親子の絆がより一層深まった一日になりました。



ボランティアで河川清掃 草原自治会・中区自治会

河川愛護

身近な自然空間である河川を大切に、きれいにする気運を高めるとともに、良好な河川環境の保全・創出を図ることを目的とした河川愛護期間(5月7日から6月25日)に、住吉地区を流れる大川を6月17日(土)草原自治会の約50人が、翌日の18日(日)には吉利地区を流れる森護川を中区自治会の約40人が、それぞれ約2時間ボランティアで草や竹などを伐採し、河川清掃を行いました。



▶草原自治会(作業中)

▶中区自治会(作業終了後)



市民も訓練に初参加

水防訓練・防災訓練

梅雨入りを前に、災害発生を想定した水防訓練と防災訓練が六月四日、永吉地区公民館広場などで行われました。堤防決壊などを未然に防ぐ水防訓練には、吹上方面団の消防団員が参加。「月の輪」や「シート張り」など、手近な資材で水害を防ぐ工法を学び、てきぱき作業しました。「大雨による土砂災害の恐れがあります。臨時の防災無線放送で始まった防災訓練では、永吉ふもと自治会やグループホーム「村長の家」の利用者など四十人が緊急避難。消防車からも避難指示が叫ばれる緊迫した空気の中、消防団員の誘導で整然と避難していきました。災害は忘れたころにやってくる豪雨、台風、地震。日々の準備は大丈夫ですか。



吹上温泉フォトコンテスト

温泉風情を写し込む

吹上温泉春祭りを実施された「ミス日置フォトコンテスト」の表彰式が六月十八日、行われました。作品は県内の写真愛好家が撮影した力作ぞろいで「選考は難航した」と温泉組合関係者。四作品で受賞した松永健太郎さん（曾於市）は「吹上温泉の風情とミス日置の魅力を表現するのに苦労した」と話しました。作品は市内各所を巡回の予定です。詳しくは吹上温泉組合（二九六―二〇二〇）まで。



ドジョウ料理試食

やまんかんの名物に

永吉ふれあい会（胸元光盛会長）が二年前から養殖しているドジョウの試食会が六月二十七日、おもいで館で行われました。試食は、十五 ほどのドジョウを甘露煮し、手打ちそばにのせた「ドジョウそば（仮称）」。参加した会員らは「思ったほど癖がない」「脂がのっておいしい」と初試食を評価。会ではおもいで館の夏限定メニューとして検討中。お問い合わせはおもいで館（二九九―三四二〇）へ。



ウミガメを守るのは私たち

伊作小「かめさん祭り」

伊作小学校で六月三十日、「かめさん祭り」が行われました。この祭りは、ウミガメを通して自然環境保護について学ぼうと、毎年実施されているものです。「卵を産み付ける深さは何 でしょうか」「ウミガメは何年前から生息しているのでしょうか」。祭りは四年生が出題するウミガメクイズが始まりました。児童は、三択の解答に思い思いに走っては、歓声をあげていました。学年ごとに、顔や腕にメッセージを描いたり、カメのお面をかぶったり。そして大うらわにプラカード。児童はそれらに思いを込めて本町通りを練り歩き、「ウミガメが住む海を汚さないで」と訴えました。

山も海も笑顔で歓迎

吹上地域のグリーンツーリズム

この六月、大阪市の中学生が修学旅行で吹上地域に民泊。山村、農村、漁村の暮らしを味わう新しい旅のスタイルは、地域を動かす力を秘めています。民泊の修学旅行で来訪したのは、大阪市今市中学校三年生。旅行社と南薩摩体験民泊受入事務局が主体となって、南さつま市（笠沙、加世田など）と吹上地域で実施。吹上では十三家庭が三十四人を受け入れました。六月十三日、対面式を終えた

生徒はそれぞれの受入家庭へ：「のはずが、海へ、田へ、畑へ。トラクターに試乗した生徒は「めっちゃおもしろかった」と興奮気味。大自然に解放され肌着で吹上浜に飛び込んだ生徒も。翌朝、どの家でも寸暇を惜しむように早朝から体験。棚田での田植や、アジ釣り、アスパラ収穫など、「蛇を見たことがない」生徒には、全てが輝いて見えた

ようです。昼食は各家庭持ち寄りの地元食材を使って、公民館の調理室で一緒に調理。黒豚の豚汁やアスパラサラダ、アジのフライに舌鼓を打ちました。わずかに二日でしたが、鹿児島弁と大阪弁の飾らない交流は大きな足跡を刻みました。また、十八日には上与倉の棚田で日帰りの田植体験ツアー。自治会あげての素材もてなしと体験に、参加者は「ぜひ次回も来たい」と話しました。農村には私たちが気付かない魅力が豊富にあるようです。



▲ なにもかも初体験の2日間。各所でこんな笑顔がはじけました



◀ 歓迎のために次々訪れる人々。こんなことも大阪では未経験



◀ 田の感触が心地よい田植え（上与倉田植体験ツアー）

史跡伐採ボランティア

亀丸城を散髪



戦国時代の山城で鹿児島県指定文化財の「亀丸城」で六月二十二日、伐採ボランティアが行われました。作業は、日新公顕彰会の活動に賛同した建設業者が同会と共同で行ったもの。伊作島津氏の要だった山城は、伐採作業も難所が多数。しかし、高い枝も重機を使って軽々と切り落とされていきました。やがて、戦国の往時を偲ばせる山城特有の空堀が姿を現すと、参加者はしばしばその風情にひたっていました。

郷土、吹上のよさを知ろうと六月九日、吹上中の二年生が塩たき体験をしました。この体験は、五月にオープンした「渚のあま塩館」に併設さ

れた施設で行われました。生徒は、木炭の熱さを忘れて、素焼きの器を混ぜるほどに浮き上がる塩づくりに、無心に取り組んでいました。

できたぞ!! マイソルト



塩たき体験

子育て支援ハンドブック日置市版できました!
妊娠・出産・育児のガイド本として活用

市では、育児に携わる保護者のために、より子育てをやすく、楽しめるように。また、子育てにより何らかの不安や悩みの解決に役立つよう、今年度から「子育て支援ハンドブック」と「父子手帖」を、母子健康手帳交付時等に配付しています。
子育てに関する疑問や悩みなどがある場合は、本庁健康保険課健康増進係までご相談ください。

子育て支援ハンドブック



子どもとともに健やかに過ごしてほしいという願いを込めて作成しました。
妊娠から出産・育児の期間におけるさまざまなサービス（健診・予防接種・経済的支援・教室・サークル・相談サービス・保育・医療機関等）の紹介をしています。市の育児情報を知りたい時にご活用ください。

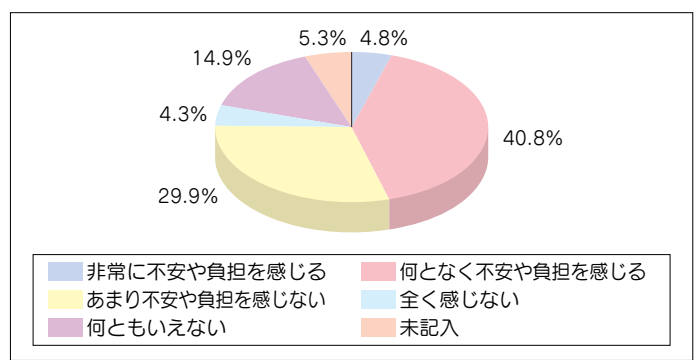
父子手帖



お父さんになる方のための手帖です。
男性の方にも育児のおもしろさ・楽しさを知ってもらうため、妊娠・出産・育児について分かりやすく書いてあります。
父親の育児は、父親自身の人生の充実になるとともに、その家庭や子どもの幸せにもつながります。「お父さん読本」としてご活用ください。

就学前児童の保護者に対して「子育てでの不安感や負担感について」の調査結果
(日置市子育て支援計画より抜粋)

	回答数	構成比
非常に不安や負担を感じる	50人	4.8%
何となく不安や負担を感じる	429人	40.8%
あまり不安や負担を感じない	315人	29.9%
全く感じない	45人	4.3%
何ともいえない	157人	14.9%
未記入	56人	5.3%
調査数	1,052人	100.0%



おめでとう

伊集院地域 6月受付分(敬称略)

(出生児) 梅木 滉太 秀久 下神殿1区
本村 剛 良信 郡下
下佳嗣朗 幸一郎 中川
有木 美波 健作 恋之原東
園田 結菜 真史 妙円寺3区
東福 淳平 弘行 郡下
竹本 彩乃 尚己 清藤
上之蘭 空花 浩憲 平古
鈴木 勇慶 男一 下神殿3区
稲留 彩花 公作 清藤
前田 瑚心 勉 川畑
上村 風輝 林太郎 猪鹿倉
小川 杏 友輔 徳重東
坂田 龍志 道郎 つじまき良
望月 季花 守 郡下
池上 睦実 博文 上之馬場
西田 巨毅 拓矢 妙円寺3区

(保護者) 西田 巨毅 拓矢 妙円寺3区
(自治会) 西田 巨毅 拓矢 妙円寺3区

おひやみ

伊集院地域 6月受付分(敬称略)

(故人) 新山 渡 下土橋
新田 丸 飯牟礼下
園田美智子 飯牟礼下
山下 善巳 妙円寺7区
岩下 ユキ 末永
浜武タミ子 徳重東
有島マサ子 上神殿下
横手 イク 寺脇
安楽 静子 平古
吉留余旨子 末永
谷山利智子 郡下
若松ハルエ つじまき良
永吉 キサ 上神殿下
山口 正年 妙円寺6区
東條 清重 竹之山
大迫 顕光 郡下
久保野嘉吉 つじまき良

(享年) 91 79 61 73 79 80 73 83 92 88 66 83 85 76 76 94 68

(自治会) 妙円寺3区

日吉地域

(出生児) 谷山 雄紀 重治 並松
大瀧 幸来 哲宏 前屋敷
曾山 広翔 康春 毘沙門
伊集院 歩 裕幸 榎木
前畑晃史 郎 吉史 山田下
大牟田紗愛 和宏 内門

(保護者) 谷山 雄紀 重治 並松
大瀧 幸来 哲宏 前屋敷
曾山 広翔 康春 毘沙門
伊集院 歩 裕幸 榎木
前畑晃史 郎 吉史 山田下
大牟田紗愛 和宏 内門

(自治会) 並松

東市来地域

(故人) 松尾 サワ 丸牧
南郷 唐一 中央
福田 一 北山
前田 キミ 江口
上口 弘己 美山 下南
荻 國義 田代東
上口 ユキ 美山 下南
内田キヨ子 皆田東
稲毛 アヤ 堀内
吉田 文雄 川北

(享年) 89 91 98 95 91 66 89 90 82 82 90 89 92 90 83 90 92 89 71 84

(自治会) 丸牧

お知らせ 介護支援専門員のみなさんへ
『介護支援専門員証』の更新手続きが必要です!

平成18年4月の介護保険法改正により、介護支援専門員に対し全国統一の介護支援専門員登録番号が付番されました。新しい登録番号は県介護保険課ホームページ「介護支援専門員関係」→「検索シート」で検索することができますので、ご確認ください。

なお、今回の制度改正に伴い、介護支援専門員として就業する場合、5年ごとに介護支援専門員証の更新手続きを必要とすることとなりました。有効期限等に関する情報はホームページ「介護支援専門員関係」→「お知らせ」で掲載しております。

※更新の手続きや介護支援専門員証の交付申請、登録事項(氏名・住所)変更届等につきましては、手続き方法等が決定次第、県介護保険課ホームページに掲載する予定です。

問い合わせ
〒890-8577 鹿児島県鹿児島市鴨池新町10-1
鹿児島県保健福祉部介護保険課 地域ケア・介護予防係
(電話) 099(286)2694 (FAX) 099(286)5552
介護保険課ホームページアドレス
<http://www.pref.kagoshima.jp/home/kaikokuka/index.html>



【材料(4人分)】

- ・おから ……120g
- ・きゅうり ……40g
- ・にんじん ……40g
- ・ハム ……40g
- ・玉ねぎ ……40g
- 調味料 [マヨネーズ ……大さじ3
- 酢 ……大さじ2
- ・レタス ……40g
- ・ミントの葉 ……適量

おからのサラダ

【作り方】

- ① ハム、きゅうり、にんじんは細切りにする。(にんじんは下ゆでしておく)
- ② 玉ねぎは薄切りにし、塩もみして水気をしぼる。
- ③ おからに調味料を入れて混ぜ、①、②の野菜を加えて混ぜる。
- ④ 器にレタスをしき、③を盛り、ミントの葉を飾る。

食改さんの
健康メニュー



ギョウワ 私の作品展 「水墨画」

蜂須賀 タツ子さん(73歳) 日吉町吉利

年を重ねても心が豊かに生活できる趣味を持ちたいと思い、友達づくりも兼ねて公民館講座で「水墨画」を始めて6年が経ちます。水墨画は、黒(墨)一色でいろんな表現をするのがとても難しい反面、物などを見る目(観察力)が養われるなど、習い始めてすごく良かったと思っています。すばらしい講師や教室の仲間に恵まれ、講座に通うのがとても楽しみで、毎年4月に開催する作品展に向けて自分の思いを絵に表現できるよう作品づくりに励みたいと思います。



ウツマ まちの文化財 14

島津立久の墓地跡(東市来地域)

東市来文化交流センターの道路をはさんだ反対側の竜雲寺跡に、島津本家10代当主立久の墓があります。立久は内政にも外交にも優れた業績を残した人物で、本人の遺言で東市来に葬られました。

立久は永享4年(1432)に9代当主忠国の次男として生まれました。父の忠国は、文明2年(1470)に死ぬまで守護でしたが、立久は長禄3年(1459)年から実質的に守護の役目をしていました。

寛正3年(1462)に市来氏7代当主久家(東市来と市来一帯を支配)が、島津本家に対して反乱を起こしました。立久は市来氏の本拠地市来鶴丸城を攻め、市来氏は撤退、市来は本家が直接治めるようになります。立久はこの年の11月に市来に竜雲寺を建立し、しばしば訪れたと伝えられています。

立久は応仁の乱(1467)にも直接戦闘には加わらず、対立していた日向の伊東氏と和平し、対外的には平穏を保ちました。また、琉球や李朝朝鮮との貿易を盛んにしました。

立久は文明6年(1474)年4月1日に43歳で死去、その遺言により遺体は竜雲寺に葬られました。

立久の墓は、昭和3年(1928)に島津家によって鹿児島市の福昌寺墓地に改葬されたため、現在は墓石を納めていた祠が残っています。



引用参考文献
『東市来町誌』

Access

本庁から
車で20分
東市来支所から
東へ車で3分



私は、五才からバレエを習っています。バレエと言えば、「白鳥の湖」を代表するよつに、見た目は華麗で優雅な踊りです。



これからも努力を続け、厳しい練習にも進んで取り組み、舞台上で一人でも踊る「夢のソロパート」を任されるようになっていきたいと思います。

ゆめ & チャレンジ

『目指せ、ソロパート』

伊作田小学校六年

東福すみれさん

ところが、踊る側にとっては、体力を必要とし、厳しいものです。そのため、「二時間半あるレッスンでは、長い時間、「バレレッスン」という基礎練習をして、筋力と体のバランスを高めています。また、トウシューズをはいて長時間踊ると、足がまめがつぶれてしまい、立つのも歩くのも難しくなっています。

しかし、辛いことばかりではありません。今では、他の小学校にもバレエの友だちが増えて、互いに自分のテクニックを教え合ったりもしています。友だち同士でテクニックを磨くことが、上達の早道のように感じられます。

いきいきひと



シリーズ⑭

地域の人と関わり 子ども達の未来を守る

子どもの不登校や児童虐待などの児童問題に医療・福祉関係者や行政関係者、地域住民など幅広い人々と共に活動する児童委員。主任児童委員を務める堂園さんは、これまでに学校訪問や家庭訪問などでたくさんの児童と接し、それぞれの機関とのパイプ役となってきました。子育てを放棄する親が増えていく現代社会。「子どもが親と過ごせる時間はすくなく少ない。その少ない時間を大切にしてほしい」

今は、子どもたちによる舞台発表「子ども劇場」や音楽鑑賞などで児童と触れ合う活動に取り組む。「子どもは感性が豊か。触れ合う中で見せてくれる子どもたちの笑顔が励みになる」と活動への苦勞を感じさせません。

本職は訪問看護婦。その他にも、マレーシア交流実行委員会事務局長、からいも交流実行委員会事務局長などを務めます。たくさんの人と交流する機会が多く「デスクワークより現場の方がいいですね」と笑顔が絶えない堂園さん。たくさんの人と正面から向き合い、親身になって取り組む活動が地域貢献に繋がります。「これからも子どもからお年寄りまで一人ひとりと向き合っていきたい」堂園さんの挑戦は続きます。



堂園かずよさん [48歳]

吹上町中原 (西本町自治会)

平成8年まで勤務していた病院を退職後、訪問看護婦として活躍。平成13年から主任児童委員を務め、現在では日置市民生委員・児童委員協議会主任児童委員部会の副部長も務めています。また、平成14年からマレーシア交流実行委員会の事業部長を務めるなど幅広く活動しています。

ヴィヴィアン・チャン



Vivian Chan さん



【東市来地域 ALT】

皆さん、こんにちは！私は東市来地域のALT(=外国語指導助手)のVivian Chan(ヴィヴィアン・チャン)です。出身はカナダです。東市来に住んでもうすぐ2年になります。東市来は本当に素晴らしい町だと思います。美山にある陶器の歴史や美しく作られた焼物、江口浜の素敵な景色も初めてみた時はびっくりしました。しかし、私にとって一番心に残ったことはいつも笑顔で、親切に挨拶してくれる市民の皆さんです。二年間という短い期間だったけど、東市来でたくさんの親切な方々と会って本当に嬉しく、子ども達がいつも元気な姿で私とコミュニケーションしてもらえたことも忘れないです。

もうすぐ帰国の日が近づいてきます。この二年間に、いろいろ習い勉強しました。日本の文化や言葉も、最初に日本に来た時よりよく分かるようになりました。自分も一人暮らしの生活に慣れて、本当に良かったと思います。

日本と別れることはさみしいですが、カナダに帰ってからまた家族と一緒に暮らしながら、自分の好きな仕事を探したいと思います。

二年間お世話になり、どうもありがとうございました。

